

ブース28

茨城県立農業大学校

茨城県立農業大学校

新規就農者への支援

農業及び農村社会を担う人材の養成並びに農村地域において指導的役割を果たそうとする農業者を育成するために必要な教育を行うための学校です。

- ・幅広い理論学習と豊富な実習で実務能力を養います。
- ・課題解決型学習で自ら考え、学び、行動する力を身に付けます。
- ・農家研修などを通して経営感覚や先進技術を学びます。
- ・寮生活で社会性・協調性を育みます。

また、農業に就きたい方や農業を始めて間もない方を対象に農業の基礎を学ぶ短期研修「いばらき営農塾」を開講しています。

オープンキャンパスでは、それぞれのキャンパスで模擬授業や実習体験を行い、農業大学校の様子を知ってもらいます。

長岡キャンパス 第2回:7月27日(木) 第3回:9月23日(土)
岩井キャンパス 第1回:7月26日(水) 第4回:9月30日(土)

※参加を希望される方は、高等学校をとおし参加を申し込むか、直接、農業大学校までお問合せ下さい。

募集概要

○養成課程(2年)

農業部(茨城町)

- ・農学科(募集人員40名)
普通作、露地野菜、果樹の3専攻コースがあります。
- ・畜産学科(募集人員10名)

園芸部(坂東市)

- ・園芸学科(募集人員30名)
施設野菜、花きの2専攻コースがあります。

○研究課程(2年、茨城町、募集人員10名)

作物、園芸、畜産の3コースがあります。

○いばらき営農塾(定員 各コース40名)

- ・水稻入門コース(茨城町):開講中
- ・野菜入門Aコース(茨城町):開講中
- ・野菜入門Bコース(茨城町):10月11日(水)開講予定
※受講生募集中

※平成29年度の詳細については、農業大学校 HPをご覧くださいか、研修科(029-292-0419:直通)
までお問い合わせください。

○農業機械研修(研修場所:茨城町)

- ①農作業安全・大型特殊免許(農耕用)等取得研修
(各回定員25名、年9回開催)
○第3次募集(第6回~第7回)
受付期間:9月11日(月)~9月22日(金)
○第4次募集(第8回~第9回)
受付期間:11月13日(月)~11月24日(金)

②農業機械士技能認定研修
(定員15名、年1回開催、11月開催予定)
※受講生募集中

③農業機械基礎研修
(各回定員10名、年3回開催、1月開催予定)
受付期間:11月1日(水)~11月30日(木)

※②、③については、応募者が5名に満たない場合は、行いません。
※平成29年度の詳細については、農業大学校 HPを
ご覧くださいか、研修科(029-292-0419:直通)
までお問い合わせください。

連絡先

茨城県立農業大学校

長岡キャンパス

〒311-3116 茨城町長岡4070-186

TEL 029-292-0010

岩井キャンパス

〒306-0631 坂東市岩井5205-3

TEL 0297-34-2141

【ホームページ】

<http://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/nourinsuisan/nodai/index.html>

ブース29

日本農業実践学園

【キャッチフレーズ】

いのち
生命を育むシゴトをしよう！

学校の特徴・将来ビジョンなど

茨城県の中心水戸市に、55ヘクタールの広大な農地を持って、実践的な農業教育を行っています。全国から集まった学生は、10～50歳代と幅広い年齢層と様々な職業経験者がいます。殆どが非農家出身の新規就農希望者で、寮生活をしながら、朝早くから農場で、農業の基礎から本格的な農業迄を実践的に学んでいます。また、生産だけでなく農業の6次産業化にも早くから取り組んでおり、農産物の加工、学園の直売所やスーパーでの販売など、農産加工や流通も学べます。土作り、種まきから収穫、加工、販売まで農業を幅広く勉強しながら、就農計画講座などを通じて将来の就農計画を具体的に決めていくことができます。



求める人材像

- 農業に関心があるので、本格的な勉強がしたい。
- 自分は農業でやっていけるか、またどのような農業が自分にあっているのか、最初にしっかりと考えたい。
- 農業をやってみたいけど、経験がないので悩んでいる。
- 青年海外協力隊に参加したい。

学生募集

【専修科】4月入学・10月入学

- ・資格—短大・大学卒(見込み)あるいは20歳以上で就労経験がある方
- ・修業期間—1年間
- ・経費—666,500円/年(学費・食費・寮費)

【本科】

- ・資格—高校卒業(見込み)または同等の資格を有する方
- ・修業期間—2年間
- ・経費—901,500円/年(学費・食費・寮費)

農業体験・研修生募集

【チャレンジ・ザ・農業体験】

研修施設に宿泊して農業を体験することができます。年間通して希望する時期に体験できます。3～5日、1か月、3か月のコースがあります。

【就農準備校】

週末(土曜日)を利用して、農業の基本的な知識と技術を、実際の農場で土に触れ、作物に触れながら勉強します。農業入門、有機農業の二つのコースがあります。

- ・農業入門コース 有機野菜を中心に、稲作や農産加工、農業機械の操作を学びます。農業の入門に最適のコースです。【場所:水戸市】
- ・有機農業コース 有機の里・小川町の有機農業実践農家で、野菜栽培を中心に、有機農業の生活、技術、経営を実践的に学びます。【場所:埼玉県小川町】

相談窓口

- 【設立】 1927(昭和2)年
- 【所在地】 水戸市内原町1496
- 【電話】 029-259-2002
- 【ファックス】 029-259-2647
- 【ホームページ】 <http://www.nnjg04.com/>
- 【メールアドレス】 nichinou@atlas.plala.or.jp
- 【担当者】 真下(ましも)・松尾

ブース30

鯉淵学園農業栄養専門学校

【キャッチフレーズ】

**実践教育の重視と個人指導徹底。
農業者を育て、強力な就職支援！！
* 旧青年就農給付金を申請できます**

会社の特徴・将来ビジョンなど

専門学校の強みを発揮し、個人指導による強力な就職支援、広大なキャンパスとハイレベルな教授陣による最高の教育環境、アグリビジネス科(農)と食品栄養科(食)とのコラボによる現場に役立つ実践教育。他校にない独自の充実した特待生制度と社会人自己推薦枠の設定。全国の仲間との出会いと就職後も役立つ卒業生のネットワーク。



求める人材像

- ・農業に興味がある方
- ・やる気のある方
- ・好奇心旺盛な方
- ・将来に夢を持っている方
- ・動植物に興味がある方
- ・食べ物に興味がある方
- ・農業初心者歓迎

求人データ

- アグリビジネス科
 - * 園芸・組合コース40名/園芸は栽培技術と経営感覚をそなえた実践的な農業人を育成、組合はJAや生協など各種協同組合の職員育成。
 - * 畜産コース20名/畜産専門技術や家畜人工授精師、受精卵移植など現場で重視される資格が取得できる。
- 食品栄養科 40名
 - 卒業と同時に栄養士の国家資格を取得。
- 研修科
 - * チャレンジファームスクール/社会人を対象とした1年コース(旧青年就農給付金対象)
 - * その他研修/就農準備校(土曜日)、体験、3ヶ月、短期。選考・面接のみ
 - * 体験農園/1区画10坪の貸出農園。1年2万円、サポート付き、宿泊施設あり。

会社データ

水戸市近郊にひろがる50ヘクタールの広大なキャンパスで、実践的な農業教育を実施しています。

開学から70年が経過し、学生は全国から、同窓生は6千人を超えました。寮も完備しており、勉学の環境は整っています。一流の農業者、一流の栄養士を目指す若者に「学びと実践と挑戦」の機会を提供する2年制課程の学校です。資格は日本農業技術検定(1,2,3級)大型特殊自動車運転免許、小型車両系建設機械・小型フォークリフト作業免許、大型車両系建設機械・大型フォークリフト作業免許、自動刈払機、毒物劇物取扱者、危険物取扱者、家畜人工授精師、家畜体内受精卵移植師、日商簿記が受験でき、受験対策も実施しています。

また、食品栄養科は卒業と同時に「栄養士」の資格が取得できます。その他、社会人を対象とした短期研修も充実し、体験農園・体験学習など、市民や児童を対象とした多様な研修事業も展開しています。

【相談窓口】研修科 小沼和重

【所在地】茨城県水戸市鯉淵町5965

【TEL】029-2592811又は029-259-6750

【FAX】029-259-6754

【メール】

Kazu-onuma@mail.koibuchi.ac.jp

【ホームページ】

<http://www.koibuchi.ac.jp>

ブース31

茨城労働局(ハローワーク)

概要

茨城県内各ハローワーク

ハローワークは職業相談や職業紹介、求人情報の提供等の就職活動の支援、並びに、失業された方へ雇用保険失業給付を支給するなど、生活及び雇用の安定を図るための事業を行う国の機関です。

新農業人フェアinいばらきの会場では、農林漁業の求人情報の提供、職業相談、職業紹介を行います。

ハローワーク水戸 水戸市水府町1573-1	TEL 029-231-6221
ハローワーク笠間 笠間市石井2026-1	TEL 0296-72-0252
ハローワーク日立 日立市若葉町2-6-2	TEL 0294-21-6441
ハローワーク筑西 筑西市成田628-1	TEL 0296-22-2188
ハローワーク下妻 下妻市古沢34-1	TEL 0296-43-3737
ハローワーク土浦 土浦市真鍋1-18-19	TEL 029-822-5124
ハローワーク古河 古河市東3-7-23	TEL 0280-32-0461
ハローワーク常総 常総市水海道天満町4798	TEL 0297-22-8609
ハローワーク石岡 石岡市東石岡5-7-40	TEL 0299-26-8141
ハローワーク常陸大宮 常陸大宮市野中町3083-1	TEL 0295-52-3185
ハローワーク龍ヶ崎 龍ヶ崎市若柴町1229-1	TEL 0297-60-2727
ハローワーク高萩 高萩市本町4-8-5	TEL 0293-22-2549
ハローワーク常陸鹿嶋 鹿嶋市宮中1995-1	TEL 0299-83-2318

相談時間

【業務取扱時間】

平日 午前8時30分から午後5時15分まで
(土曜、日曜、祝・祭日等はお休みです。)

※ ただし、ハローワーク水戸、ハローワーク日立は月・火曜日午後6時30分まで、第2・4土曜日午前10時から午後5時まで開庁し、職業相談、職業紹介業務を行っております。
(雇用保険業務は取り扱っておりません。)

※ 右記ハローワークのほか、土浦わかものハローワーク、常陸太田市・ひたちなか市・つくば市・鉾田市・取手市に地域相談室があり、職業相談、職業紹介業務を行っております。
(開庁日、開庁時間が異なっておりますので、詳しくは右記ハローワークにお問い合わせください。)

ブース32

いばらき地域しごと支援センター

概要

県内のしごと情報や移住等に係わる、生活情報の一元的な収集・発進。

又、移住希望者等に対する個別相談や現地案内。

茨城へ移住・就農・就職をお考えの方へ

茨城に住みたい
茨城で就農したい
茨城の農業法人に就職したい
茨城でしごとをさがしたい
茨城の情報がほしい

「支援相談員がご相談をお受けします」

【場所】 水戸市三の丸1-7-41
(いばらき就職・生活総合支援センター内)

【連絡先】 029-233-1601
029-300-1916

【開設時間】 9:00～16:00(月～金)

【アクセス】 JR常磐線 水戸駅北口より
徒歩10分

ブース33

結城地域就農支援協議会

結城市，常総市，八千代町で
就農を希望される方を応援します。

新規就農者への支援

1. 就農相談
結城市，常総市，八千代町へ就農を希望される方を対象に，随時相談を受け付けています(事前予約をお願いします)。
2. 新規就農者への支援
 - ① 農業技術習得の支援
 - ・農家研修先の紹介
 - ・各種農業関係講座、研修会の開催および紹介
 - ・就農支援アドバイザー(地域のベテラン農業者)による助言や指導
 - ② 資金情報の提供
 - ③ 農地情報の提供
 - ④ 住宅、空き家情報の提供
3. 国、県、市町の支援制度の紹介

協議会の活動状況

結城地域(結城市・常総市・八千代町)の市町農業関係課，市町農業委員会事務局，農業協同組合，地域農業改良普及センター及び農家代表が構成員となって，新規就農者確保のため，就農希望者の呼び込みや就農相談，定着までの営農や生活に関わる環境づくり及び新規就農者に対する経営安定を図るための育成支援活動を行っています。

地域の概要

茨城県西南部に位置し，東西約9km，南北約44kmと南北に長く，中央部を鬼怒川，東に小貝川，西に飯沼川が南流し，これら河川流域は平坦な水田地帯を形成し，台地では平坦で広大な畑作地帯を形成しています。年間平均気温は13.5℃で，気候的には比較的温暖な地域です。年間降水量は1,300mmです。

販売農家数5,074戸のうち，専業農家922戸(18%)，第一種兼業農家951戸(19%)，第二種兼業農家3,201戸(63%)です。地域の経営耕地面積は13,150haで，うち水田が8,140ha(62%)，畑(樹園地を含む)5,010ha(38%)です。水田地帯では，水稻と麦，大豆，野菜類などを組み合わせた比較的規模の大きな土地利用型農家が点在しています。また，畑作地帯では，ハクサイ，レタス等露地野菜を中心とした経営が行われており，特にハクサイは，管内での延べ作付面積1,739haと全国有数のハクサイ産地を形成しています。

連絡先

【相談窓口】

茨城県県西農林事務所
結城地域農業改良普及センター

<所在地>

〒300-3544

茨城県結城郡八千代町大字若1517-5

<問い合わせ先>

TEL:0296-48-0184 FAX:0296-48-2682

<メールアドレス>

yunofu@pref.ibaraki.lg.jp

笠間地域就農支援協議会

笠間地域就農支援協議会

笠間地域は、茨城県の中央部に位置する笠間市と城里町の1市1町が管内です。北部には那珂川周辺に沖積地が広がり、中央部から南東部には酒沼川が流れ、中央部は八溝山系に囲まれた盆地南東部は平坦地となっています。

笠間市では県内でも有数の産地であるクリやコギクをはじめ、ナシ、イチゴなど園芸作物が主流です。その中で、コギクについては新規就農者に対してベテラン生産者が技術支援を行う体制が整っていることもあり、Uターンを中心とした新規就農者が増えています。

城里町では、茶や赤ネギなどの地域特産物や、トマト・キュウリなどの施設野菜、サトイモ・ゴボウなどの根菜等が栽培されています。

特に新規参入者は、小面積で収益性の高いトマト・キュウリでの経営開始が増えています。また、最近では定年帰農者でも栽培しやすいオクラやショウガといった軽量野菜の栽培も盛んになっています。

「笠間地域就農支援協議会」は、笠間市、城里町、常陸農業協同組合、水戸農業協同組合、茨城県県央農林事務所笠間地域農業改良普及センターなどの関係機関と、農業者の立場で新規就農者の支援をする「就農支援アドバイザー」を構成員として、新規就農者の確保と育成を推進するために設立された協議会です。当協議会は、地域農業を維持・発展させる人材の確保・育成を図るため、笠間地域で新たに就農を希望する方への支援を行っています。

新規就農者への支援

1. 就農相談
当地域へ就農を希望される方を対象に、随時相談を受け付けています(なるべく事前予約をお願いします)。
2. 新規就農者への支援
 - ① 農業体験・研修等の紹介, 農業技術習得の支援
 - ② 就農に関する各種相談, 計画作成支援
 - ③ 営農開始資金情報の提供
 - ④ 農地情報等の提供
 - ⑤ 就農支援アドバイザーによる助言・指導
 - ⑥ 販売方法に関する相談, 情報提供
3. 国, 県, 市町の支援制度の紹介
新規就農者向けの各種支援制度について紹介します。

連絡先

<相談窓口>

◎就農地が定まっている(希望がある)方は、以下の市町へ直接ご相談下さい。

【笠間市を希望する方】

○笠間市産業経済部農政課

[住所] 笠間市中央3-2-1 [TEL] 0296-77-1101(代)

【城里町を希望する方】

○城里町農業政策課

[住所] 城里町石塚1428-25 [TEL] 029-288-3111(代)

◎まずは農業に触れてみたい方、就農地が定まっていない方は下記までご相談ください。

○茨城県県央農林事務所笠間地域農業改良普及センター

[住所] 笠間市笠間1531 [TEL] 0296-72-0701

土浦地域就農支援協議会

土浦地域は、県のほぼ中央に位置し、管内は土浦市、石岡市、かすみがうら市です。霞ヶ浦湖岸の低地には主に水稻、レンコンが栽培されています。また、筑波山麓から霞ヶ浦湖岸に至る台地では、果樹(ナシ、クリ)、グラジオラス、コギク等が栽培されており、特徴ある産地を形成しています。

特に、レンコンは日本一の産地で、後継者や新規参入者等の新規就農者が増えています。

「土浦地域就農支援協議会」は、土浦市、石岡市、かすみがうら市、土浦農業協同組合、新ひたち野農業協同組合、やさと農業協同組合、県南農林事務所経営・普及部門(土浦地域農業改良普及センター)などの関係機関と、就農支援アドバイザー(農業三士の代表)を構成員として、地域農業の担い手の確保・育成を推進するために設立された協議会です。

当協議会では、新規就農者等の情報の共有化を図りながら、土浦地域で新たに就農を希望する方への支援を行っています。

新規就農者への支援

1. 就農相談
当地域へ就農を希望される方を対象に、随時相談を受付けています(必ず事前予約をお願いします)。
2. 新規就農者への支援
 - ① 農業体験・研修等の紹介、農業技術習得の支援
 - ② 就農に関する各種相談
 - ③ 営農開始資金情報の提供
 - ④ 農地情報等の提供
 - ⑤ 就農支援アドバイザーによる助言・指導
 - ⑥ 販売方法に関する相談、情報提供
3. 国、県、市の支援制度の紹介
新規就農者向けの各種支援制度について紹介します。

連絡先

【相談窓口】

土浦市産業部農林水産課

[所在地]土浦市大和町9-1 [Tel]029-826-3459

石岡市経済部農政課(石岡市新規就農者支援センター)

[所在地]石岡市柿岡5680-1 [Tel]0299-43-1111

かすみがうら市環境経済部農林水産課

[所在地]かすみがうら市大和田562 [Tel]029-897-1111

茨城県県南農林事務所経営・普及部門

(土浦地域農業改良普及センター)

[所在地]土浦市真鍋5-17-26 [Tel]029-822-8517

稲敷地域就農支援協議会

稲敷地域就農支援協議会

新規就農者への支援

・稲敷地域の農業

稲敷地域は、利根川を挟んで千葉県に接する県南部に位置する龍ヶ崎市、牛久市、稲敷市、美浦村、阿見町、河内町の3市2町1村です。

霞ヶ浦湖岸から利根川流域に広がる水田地帯では主に水稲が栽培され、農地中間管理事業の活用や作業受託による規模拡大が進んでいます。また、レンコン、ブロッコリー、イチゴ、イチジク、施設野菜(トマト、ナス、キュウリ)、ネギが栽培され、龍ヶ崎市の「ファーストトマト」、河内町、稲敷市の「レンコン」が県の銘柄産地に、阿見町の「レンコン」が銘柄推進産地に指定されています。

霞ヶ浦西部に広がる稲敷台地の畑作地帯では、園芸作物の栽培が盛んで、今回見学させて頂いた稲敷市の「江戸崎カボチャ」、龍ヶ崎市・牛久市の「コギク」が銘柄産地に、牛久市、阿見町の「スイカ」と牛久市の「ダイコン」が銘柄推進産地に指定されています。しかし、いずれの地域においても高齢化が進み、担い手不足となっており、新しい人材が求められています。

・稲敷地域就農支援協議会

龍ヶ崎市、牛久市、稲敷市、美浦村、阿見町、河内町、竜ヶ崎農業協同組合、稲敷農業協同組合、茨城かずみ農業協同組合、県南農林事務所稲敷地域農業改良普及センターなどの関係機関と、農業者の立場で新規就農者を支援する「就農支援アドバイザー」を構成員として、稲敷地域で新たに就農を希望する方への支援を行っています。

1. 就農相談

龍ヶ崎市、牛久市、稲敷市、阿見町、美浦村、河内町へ就農を希望される方を対象に随時相談を受け付けています。

2. 新規就農者への支援

① 農業技術習得の支援

- ・農家研修先の紹介 (JA稲敷江戸崎南瓜部会、阿見町露地野菜農家など)
- ・各種農業関係基礎講座、研修会の開催および紹介
- ・就農支援アドバイザーによる助言・指導

② 資金情報の提供

3. 国、県、市町村の支援制度の紹介

新規就農者向けの支援制度について紹介します。

連絡先

【相談窓口】

茨城県県南農林事務所

稲敷地域農業改良普及センター

<所在地>

〒300-0504 稲敷市江戸崎甲541-2

<問い合わせ先>

TEL 029-892-2934 FAX 029-892-6684

<ホームページ>

<http://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/nourinsuisan/nannourin/inanofu/>

<メールアドレス>

inanofu@pref.ibaraki.lg.jp

ブース37

つくば地域就農支援協議会

【キャッチフレーズ】

つくば地域で新規就農したい方、就農支援のご相談をお受けしています。

協議会の特徴・将来ビジョンなど

茨城県南部に位置するつくば地域は、取手市、つくば市、守谷市、つくばみらい市、利根町の4市1町が管内です。つくばエクスプレスの開業や圏央道開通による沿線開発に伴い、都市化が進んでいる地域です。

筑波山麓や小貝川流域には、稲作地帯が広がっています。園芸品目では、ネギ、施設トマト、ミツバ、芝の産地がある他、様々な野菜、果樹、花きが栽培されています。市場出荷向けの農産物が減少する一方で、直売活動、観光農園、農業体験など、都市的環境を活かした農業への転換が進んでいます。

当地域は、新規参入者からの就農相談が多く、就農事例が多い特徴があります。「つくば地域就農支援協議会」は、取手市、つくば市、守谷市、つくばみらい市、利根町、つくば市農業協同組合、つくば市谷田部農業協同組合、茨城みなみ農業協同組合、竜ヶ崎農業協同組合、大八洲開拓農業協同組合、県南農林事務所つくば地域農業改良普及センターなどの関係機関と、農業者の立場で新規就農者の支援をする「就農支援アドバイザー」を構成員として、新規就農者の確保・育成を推進するために設立されました。

当協議会は、就農希望者の就農相談から就農計画認定、経営開始、就農後の経営安定まで一貫した支援体制を整備しています。

新たに農業経営を開始するには、基本的な栽培技術・知識、初期投資にかかる資金が必要です。基本的な栽培技術・知識については、当地域の研修受入農家で1～2年間の研修で習得することは可能です。

求める人材像

- 農業経営を継続的に営む強い意志がある方
- 農村社会で生活していくためのコミュニケーション能力がある方
- 日々の農作業に耐えられる体力のある方
- 農業に関する基本的な栽培技術・知識のある方

就農者への支援

1. 就農相談
取手市、つくば市、守谷市、つくばみらい市、利根町へ就農を希望される方を対象に随時相談を受け付けています。
2. 新規就農者への支援
 - ① 農業技術習得の支援
 - ・農家研修先の紹介
 - ・各種農業関係講座、研修会の開催及び紹介
 - ・就農支援アドバイザーによる助言・指導
 - ② 資金情報の提供
 - ③ 農地情報の提供
3. 国、県、市町の支援制度の紹介
新規就農者向けの支援制度について紹介します。

連絡先

【相談窓口】	茨城県県南農林事務所 つくば地域農業改良普及センター
【所在地】	〒305-0861 つくば市谷田部3951-5
【TEL】	029-836-1109
【FAX】	029-836-1816
【ホームページ】	http://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/nourinsuisan/nannourin/tsunofu/index.html
【メールアドレス】	f-tsukuba@agri.pref.ibaraki.jp
★その他関係機関の相談窓口★	
【市町】	取手市(農政課) つくば市(農業政策課) 守谷市(経済課) つくばみらい市(産業経済課) 利根町(経済課)
【JA】	つくば市農業協同組合(営農部) 茨城みなみ農業協同組合(営農経済部) 竜ヶ崎農業協同組合(わかくさ支店) 大八洲開拓農業組合

ブース38

JA茨城県中央会 県域営農支援センター

概要

当センターは、茨城県内JAの就農支援に関する相談窓口となっています。就農支援に取り組むJAの活動内容をご紹介しますり、JAの組織・事業についてご紹介をします。

連絡先

JA茨城県中央会 県域営農支援センター
(担当:営農マーケティング支援室)
〒310-0022 水戸市梅香1-1-4
茨城県JA会館内2F
TEL 029-232-2101
FAX 029-232-3040
【ホームページ】 <http://www.ib-ja.or.jp>

相談時間

【就農相談】

JA茨城県中央会 県域営農支援センター
営農・マーケティング支援室

月曜日～金曜日:午前9時から午後5時まで



ブース39

有機農業参入促進協議会

【キャッチフレーズ】

新たに農業を始めたい人や、慣行栽培から有機農業へ転換する人を応援します。

有機農業で就農希望の方に、有機農業全般について相談に応じます。
有機農業の研修を受けたい方に、研修先を紹介します。

有機農業参入促進協議会

有機農業参入促進協議会は、有機農業の参入促進を担っている団体が構成員となり、「公的機関及び民間団体と協働して、有機農業への新規及び転換参入を支援すること」を目的として、平成23年に設立いたしました。
有機農業を始めようとする方々の相談窓口の役割を果たしつつ、有機農業への参入が容易な環境を整えていく支援を行っています。

石岡市新規就農者支援センター

石岡市で就農を希望される方を支援します。農業に興味があり、やってみたいと思っても土地や機械、技術的な問題などさまざまな疑問・不安があることと思います。
石岡市新規就農者支援センターでは、関係機関と協力して研修先の紹介や資金相談・各種補助事業の紹介などの相談にお答えします。農業に興味をお持ちの方、実際に農業をやってみたい方、まずはお気軽に相談窓口にお問い合わせください。

連絡先

【相談窓口①】

有機農業参入促進協議会相談窓口

<所在地>

〒315-0143 石岡市柴内630 朝日里山学校内

<担当>柴山 進

<問い合わせ先>

TEL 0299-51-3117 FAX 0299-51-1038

<メールアドレス>

ren-riku@kb4.so-net.ne.jp

【相談窓口②】

石岡市新規就農者支援センター

<所在地>

石岡市柿岡5680-1

<問い合わせ先> TEL 0299-43-1111 FAX 0299-43-6384

<ホームページ/メールアドレス>

ホームページ <http://www.city.ishioka.lg.jp/>

メールアドレス nousei@city.ishioka.lg.jp



茨城で農業をはじめよう！

☆茨城県の農業概要・特徴☆

平坦な農地と温和な気候、首都圏の大消費地に近いことなど有利な条件を生かし、全国屈指の農業県として発展してきました。
 平成27年の茨城県の農業産出額は、4,549億円となり8年連続で北海道に次ぐ第2位となっています。全国第1位の作物は、メロン、レンコン、ほしいも、ミズナ、チンゲンサイ等があります。(平成26年度出展：農林水産省統計データ)

☆新規就農者の状況☆

平成27年度の新規就農者は、269名。青年は(16歳～39歳)202名、中高年は(40歳～65歳)は67名。
 このうち農外からの新規参入者は青年は45名、中高年は15名でした。
 主な経営類型は野菜が72%で最も多く、次に普通作(16%)、果樹(5%)、畜産(3%)、花卉(3%)となっています。

☆就農支援の特徴☆

茨城県では、地域での就農相談窓口として、県内12の地域農業改良普及センターに就農支援協議会を設置し、新規就農希望者が円滑に就農できるよう農業者と協力して支援の充実に努めています。

☆地域就農支援協議会☆

各地域就農支援協議会は、農林事務所、市町村、農協店農業委員会などの関係機関と農業者が連携して就農相談をはじめとした支援活動を行っています。

就農地が決まっている、または、決まった段階では、就農地を管轄する地域農業改良普及センター(農林事務所 経営・普及部門)が中心となり就農を支援します。

新規就農者への支援

ニューファーマー育成研修助成事業：

栽培技術等の習得のために農業者のもとでの研修を支援します。
 認定新規就農者又は、公社理事長が研修計画を承認した就農希望者(農業次世代人材投資資金の要件に該当しない方)の長期研修(概ね1年以上)を受け入れる農業者等に対して助成をしています。
 研修生は研修手当の支給を受けながら、農業者として自立するために必要な農業技術や経営感覚を習得することができます。

農業次世代人材投資資金(準備型)：

対象者(以下の要件を全て満たす者)

- ①就農予定時の年齢が、原則45歳未満であること。
- ②県が認める研修期間・先進農家等で概ね1年以上研修を受けること。
- ③独立・自営就農又は、雇用就農又は、親元での就農を目指すこと。
 最長2年 交付額 150万円/年

※研修終了1年以内に原則45歳未満で就農しなかった場合及び交付期間の1.5倍(最低2年間)の期間、独立・自営就農を目指す者について、就農後5年以内に認定新規就農者又は認定農業者にならなかった場合などは、返還になります。

連絡先

【相談窓口】

(公社)茨城県農林振興公社(茨城県新規就農相談センター)

〈所在地〉 〒311-4203 水戸市上国井町3118-1

〈問い合わせ先〉 TEL 029-239-7131 FAX 029-239-7097

〈ホームページ・メールアドレス〉

<http://www.ibanourin.or.jp/concier/>

E-mail:ibaraki-ninaite@ibanourin.or.jp

ブース41

農業法人等就職相談

農業法人就職相談・就農支援

連絡先

○茨城県内の農業法人等に就職を希望する方のご相談をお受けしています。

自分で農業を始めるためには、
農地や資金などの課題をクリアしなければなりません、
農業をしたいという意欲があれば、
農業法人等に就職して農業に就くことができます。
多くの農業法人等が特徴的な経営を行っている茨城県で、
就農の夢を実現しませんか。

お気軽に当ブースにお立ち寄りください。

○茨城県農林振興公社は、「農業無料職業紹介所」として、
県内農業法人等の求人情報を提供し、就職の斡旋を行っています。

○「無料職業紹介所」として、相談会に出展されている
農業法人以外の求人情報もありますので、詳細につきましては、
農業法人等就職相談ブースで直接ご相談ください。

【相談窓口①】

(公社)茨城県農林振興公社
(茨城県新規就農相談センター・農業無料職業紹介所)

〈所在地〉

〒311-4203 水戸市上国井町3118-1

〈問い合わせ先〉

TEL 029-239-7131 FAX 029-239-7097

〈ホームページ・メールアドレス〉

<http://www.ibanourin.or.jp/concier/>

E-mail:ibaraki-ninaite@ibanourin.or.jp

【相談窓口②】

(一社)茨城県農業会議

〈所在地〉

〒310-0852 水戸市笠原町978-26

茨城県市町村会館内

〈問い合わせ先〉

TEL 029-301-1236 FAX 029-301-1237

〈ホームページ・メールアドレス〉

<http://www.ibanou.com/>

E-mail:kaigi@ibanou.com

ブース42

“研修生応援産地ブース”

【キャッチフレーズ】

栽培技術，農地，販路，住宅に関する支援を受けながら，産地での独立を支援します！！

研修生応援産地とは

就農を目指す人，特に独立自営就農を目指す人にとって、『栽培技術をきちんと習得できるだろうか？』『縁もゆかりも無い土地で農地を借りられるだろうか？』『安定した販売先を見つけられるだろうか？』『畑の近くに住む場所はあるだろうか？』など，様々なハードルに直面します。

『研修生応援産地』は，県内の生産者組織（〇〇部会，〇〇組合等）が持つ組織力やネットワークを生かして，技術，農地，販路，住宅の確保について積極的に支援し，就農希望者の独立と，独立後の安定経営を支援します。

本日出展の2産地以外にも，現在，約16産地が研修生を募集しています。お気軽にブース担当者までお問い合わせ下さい。

【本日出展産地】JAつくば市ねぎ部会

○つくば市内でネギ栽培の研修生を募集します！
JAつくば市ねぎ部会は生産者40名によって構成され，周年供給のネギ産地として，県銘柄産地の指定を受けています。しかし，部会員の高齢化と都市化の進展により担い手が不足しており，新規部会員を育成するため，研修生を募集しています。

- 研修期間 2年間
- 募集人員 1～2人／研修受入農家1戸
- 研修内容 研修受入農家のもと，複数の作型を組み合わせたネギの周年栽培技術を学ぶ
- 研修支援 青年就農給付金（準備型）を利用
- 研修条件 概ね40歳までの方で，普通自動車免許があり，研修先まで自家用車等で通えること

◎ネギ経営の発展モデル
ネギは露地野菜の中でも比較的価格が安定しており，面積当たりの売上も高い品目です。機械化による省力効果の高い野菜で，機械化一貫作業体系により，経営規模拡大と収益性向上が期待できます。

【本日出展産地】箕輪中央園芸出荷組合

○「涸沼」湖畔で，ベビーリーフやメロンの研修生を募集します！
ベビーリーフは，作業が簡便で，面積を増やすことで安定した売上げが期待できます。一方メロンは，長期的視点で技術を習得し，高品質生産を目指します。産地の担い手が減少しており，新しく始める人への期待が大きい品目です。

- 支援内容
 - ① 地域内に研修圃場及びパイプハウスを用意します。
 - ② 研修に必要なトラクター，作業機，管理機械や農業資材を用意します。
 - ③ 地域内に住居をあっせんします。

- 受入対象者
 - ① 青年就農給付金（準備型）を夫婦での受給が確実な方1組。
 - ② 研修終了後，地域内で就農・定住する45歳まで夫婦の方。
 - ③ 農業の経験は問いませんが，やる気がある方。

- 研修内容
 - ① ベビーリーフ（フレッシュハーブ）の生産から販売。
 - ② メロンやトマトの生産から販売。

連絡先

【箕輪中央園芸出荷組合】

○組合代表 畠 長弘（はた たけひろ）
（住所：鉾田市箕輪2258 TEL・fax:0291-37-0665）

○鹿行農林事務所 経営・普及部門（鉾田地域農業改良普及センター）
（住所：鉾田市鉾田1367-3（鉾田合同庁舎内） TEL:0291-33-6192）

【JAつくば市ねぎ部会】

○JAつくば市本店 営農企画課
（住所：つくば市東岡335 TEL:029-857-3114）

○県南農林事務所 つくば地域農業改良普及センター
（住所：つくば市谷田部3951-5 TEL:029-836-1109）